

家畜衛生だより

令和7年10月発行

中央家畜保健衛生所
村山地域家畜畜産物衛生指導協会
〒990-2161 山形市漆山 736 番地
TEL 023-686-4410
FAX 023-686-5715

下牧後の管理について

数か月間の放牧場生活を終え、牛たちが牛舎に戻ります。放牧場から舎飼いへと生活環境が変化するため、牛たちは体調を崩しやすい状態です。下牧した牛をよく観察して健康管理に気を付けましょう！



① 体調管理

- ・食欲はありますか？
- ・皮膚病（皮膚真菌症や牛乳頭腫等）はありませんか？
- ・四肢（蹄部等）に異状はありませんか？
- ・下痢や風邪症状はありませんか？



⇒異状が見られたらすぐに診察を受けましょう！

② 飼料給与

急激な飼料変更は鼓脹症や下痢の原因に！



⇒下牧後は粗飼料を主体にし、濃厚飼料は
2～3週間かけて徐々に増やしましょう！

③ 妊娠鑑定

妊否不明牛はいませんか？



⇒できるだけ早く妊娠鑑定を受けましょう！

裏面に続く

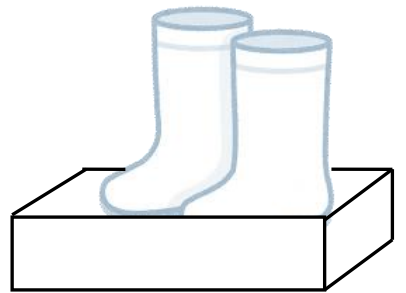


牛の下痢や風邪の流行期に入ります！

10月に入り、朝晩が寒くなってきました。1日の気温差があるこの時期は、特に下痢や風邪が発生しやすくなります。大切な牛を守るために対策をしましょう！

病原体を農場に入れない！！

- ①必要のない者の立入制限
- ②踏込消毒槽の設置や車両消毒の徹底
- ③導入牛の隔離飼育



下痢や風等を農場内で蔓延させない！！

- ①発症牛の早期発見！
- ②下痢便はすぐに片付けて消毒をしましょう。
- ③きれいな生活環境で病気やストレスを軽減しましょう。



ワクチン接種による予防

- ①症状の軽減
- ②発症牛から排出されるウイルスの低減
⇒同居牛への感染拡大低減

獣医さんにご相談を！！



飼養牛に異状が認められたら**速やかに**ご連絡ください。

中央家畜保健衛生所（24時間対応）

023-686-4410 090-1840-0703